

ぞうさんニュース



6月

新型コロナ情報 (3)

— 医療崩壊の発生を防ぐため —

新型コロナ感染症の確定診断は意外に難しいのです。理由は発病に至らない感染者が患者の4倍以上いることと、検査方法がまだ完全ではないことの2点に尽きます。

慶応病院では全ての入院患者でコロナウイルスの保菌者を調べたところ6%の人がPCR陽性でした。これが東京のコロナウイルス浸透率をある程度反映しているとすれば一般病棟内での安全な検査・治療（胃カメラ、全身麻酔、各種リハビリ、呼吸器の使用、精神科医の個室内治療、歯科診療など）は不可能ということになります。

三重県内の研究機関でもこのウイルスがどれくらい浸透しているかを様々な方法で検討しています。現在確実にわかっているのは、県内で多くのPCR検査が実施されておりこの3週間以上PCR陰性が続いています。全国の陽性率が3%であることを考えれば県外からの持ち込みがない限り現時点で三重県内においてCOVID19は完全に駆逐された状況といえます。

とりあえず一息をついたところで日本の研究者が取り組んでいる研究内容及び対処法において2点説明します。



1. 抗原と抗体の測定による診断について

- ① 抗原：文字通り病原ウイルス遺伝子の存在を証明するPCR法が主に用いられていますが今ひとつ精度と利便性に欠けるため患者の状況、症状を考え併せての診断になります。
- ② 抗体：患者さんがいつごろ感染したか、病状はどの程度かなどが判断でき①と組み合わせると伝染力が高いか低いかの判断や隔離方法の具体的な方針決定も可能なので現在EIA法、色素法を用いた検査キットによる実験的な判定開始実用化を検討中です。

2. ワクチンについて

- ① 遺伝子組み換え法：COVID19の遺伝子を人体に取り込まれやすい別のウイルスの外殻に入れ込む方法で短期に大量に生産することができます。現在阪大微生物研究所、東大医科学研究所、日本感染症研究所などで急遽試作中で7月から治験開始が予定されています。
- ② 不活化ワクチン：COVID19のウイルス粒子全体を破砕して無害な状態にしたワクチンで現在中国などが研究中。

とにかく、抗ウイルス薬とワクチンの緊急の開発がなければ人類はこのウイルスを克服できません。世界の研究者にエールを送りたいです。

親子サークル6月の予定

みかん	8日	15日	22日 (月)
いちご	9日	16日	23日 (火)
自由サークル	1日	2日	5日 12日 19日 26日 29日 30日

しばらくの間、お出かけサークルはネバーランドでの自由サークルとさせていただきます。

連絡先 0597-47-3352 支援センター ぞうさん

休日当番

6/7(日)

6/21(日)

9時~17時

TEL必要

6月の休日当番医

	尾鷲市	紀北町
6/7(日)	尾鷲総合病院	かとう小児科
14(日)		尾鷲総合病院
21(日)		かとう小児科
28(日)		尾鷲総合病院